



わくわくフェスティバルにご参加いただいた皆様ありがとうございます。どの学年も可愛らしく、そしてカッコよく、みんなで身体を動かしながら楽しんでくれた姿が本当に素敵でした！

「かっこよく踊りたければ、大変な構えを続けなければいけないよ。大変なとき、ツラくなったらときこそ、そこで諦めそうなの自分と戦うんだ。」

わくわくフェスティバル当日を迎えるまでの取り組みで、子どもたちはかなり意識し続けていました。その姿は本当にかっこよく、涙腺がゆるんでくる程でした。夏の太鼓の披露で涙ぐんでいたら子どもたちも突っ込まれたのでなんとか我慢しましたが。

これからの人生、色々なことが子どもたちの前に立ちまわることがあります。そんなとき、諦めようとする自分との戦いには負けてほしくないのです。きっと人生は自分との戦いの連続です。(外部からの力、自分ではどうしようもないことから「逃げるが勝ち」の場合もありますね。) ツライとき大変なときに、自分を信じて、グッと踏み込む、その力の種になることを願って、これからも職員一同子どもたちと日々関わって参ります。

園長 梶原 秀一

今月の予定

牛久市幼児教育指導員の先生方による

「おはなし会」<年中・長児>

11/1 (水) 14:00~

宮本先生、栗山先生に今月も絵本や紙芝居の読み聞かせをしていただきます。子どもの反応や呼吸の間も感じられる読み聞かせを、是非ご家庭でもお楽しみください。

ALT訪問<年長児のみ>

11/6 (月) 13:30~

小学校の英語学習に派遣されている外国語指導助手(ALT)の方が年長児との交流としていらっしやいます。少しでも期待や興味が持てますように。

三園合同交流会<年長児のみ>

11/7 (火)

つつじが丘保育園、つつじが丘ふたばランド保育園の年長さんと合同で交流する機会です。今回はつつじが丘保育園さんにてミニ運動会を楽しめますよ！

カレーライスの日

11/8 (水)

今月からぞうGさんがカレーの材料の買い出しに行ってくれます。今月もみんなで協力して美味しく作るぞー！おー！

サツマイモ掘り

11/9 (木)

3,4,5歳児によるサツマイモ掘りをします。どのくらい収穫があるかは掘ってみるまでのお楽しみ！天気が良ければ20日(月)に焼き芋をする予定です！

内科検診

11/9 (木) 14:00~

※当日お休みされる方は、ご自身で受診していただくことになりますのでご了承ください。

おべんとうデー

11/15 (水)

子どもたちが大好きなお弁当の日です。今から楽しみのお弁当です。今から楽しみのお弁当です。今から楽しみのお弁当です。

リトミック

11/17 (金)

中島先生とのリトミックです。音をよく聞いてリズムに合わせて身体を動かすことで、自然とリズム感や注意集中力が養われていきます。

交通安全教室<年長児のみ>

11/24 (金)

今回は年長児が教化員の皆さんと交通安全を確認しながら市役所まで散歩をします。一緒にペットボトルキャップの寄付もしてもらいますよ。

誕生会

11/28 (火) 10:00~

11月生まれの誕生会！一年一度の素敵で嬉しい日！お友だちのことを自分のことのように祝って、喜ぶ子どもたちに育っています。

お知らせ・お願い

★てくてくミュージアム(作品展)

12月7日~9日 13:00までを開催します。詳細は後日お伝えいたします。

★今後の健診の予定

12月6日(水) 尿検査提出 9:00まで
12月7日(木) 歯科検診 14:00~

★薬のお預かりについて

基本的に園では薬のお預かりをいたしません。理由としては飲ませ間違い等のミスを極力避ける為です。受診の際は、保育園の状況を医師に伝え、朝晩の服用になるように病院でご相談ください。しかし、症状によっては日中も薬を服用しなければならない場合もあります(主に抗生物質等)。その場合は、園からお渡しする与薬依頼書に必要事項を記入して提出していただくことになります。気になることがあれば、担任や事務室にお気軽にお声掛けください。

センス・オブ・ワンダー

レイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」美しいものの、未知なるもの、神秘的なもの、目を見張る感性を子供達へ、一番大切な贈り物にした。・・・を再読した。忘れかけていた子ども達の世界が蘇ってきた。子ども達の世界で、失いかけていたものではないか。その「感性を育むためには、子どもと一緒に自然を探索し、発見の喜びに胸をときめかせる大人が一人でも傍に居ること」だ。▼運動会が終わった雨の翌日、真っ青な秋空の中、全園児でお散歩に出かけた。裏門を出ると、すぐにキンモクセイの香りがした。子ども達もいい匂いと、周囲を見回すと、大きく育ったキンモクセイが、黄色い花をいっぱいつけて、あたりに芳香を放っていた。しばらく行くと、ススキ野原に出た。ススキを帽子につけると、僕にも取ってとせがまされた。しばらく行くとため池があり、子供たちが覗くと、大きなザリガニが、泥を巻き上げて逃げた。途中、色々な草花を見つけた。小さな美しい花に見えたり、トノサマバッタを追いかけたり、カマキリやカタツムリを捕まえた。動物植物に触れながら、公園に着いた。グラウンドは、ソフトボールをしていたので入れなかった。石の壁をよじ登った。木登りをする子、刈り込ま

れた草地で鬼ごっこやじゃれつき遊びをしたりして、たっぷり遊んだ。疲れたので、グラウンド入口の階段に座って、遠くのソフトボールをしている人達を眺めていると、公園の手入れをしていたオバさんからもったコスモスを花束にして女の子達が集まって来た。「何をしているの?」と「おじいちゃん達のソフトボールを見ているんだ」と言うので、「どうしておじいちゃんって分かるの?」と。「うん、園長ゴリラは何でもわかるんだ」と答えた。(動きが白じいちゃんだった)。白い雲がひとつ、青空にぽっかり浮かんでいた。子ども達も、白い雲を見ながら「雲に乗ってみたいな」「雲ってどうなっているんだろ」「雲ってどうなっているんだろ」などと想像を膨らませていた。そして、「お腹が空いたから、そろそろ幼稚園に帰ろう」と帰路に着いた。子ども達には、こういう生活が大切だと思った。▼その日の夕刻、事務所で机に向かっていると、遠くからたくさんの虫の音が。虫の音に誘われ外にでると、風がひんやりと頬をなでた。秋の深まりの中、虫の音に耳を傾けた。タイパの忙しい時代、童謡「むしのこえ」に登場する虫たちの声を、じっと聴き分ける。

鈴虫の音をくらべむと 目をつむる

理事長 浅田 精利